

国立大学法人東京工業大学長 殿

申請者 : 所属部局名
(実施責任者) : 部局長氏名
: 職名・氏名

クラウドファンディングを活用した寄附金募集実施申請書

標記について、下記のとおりクラウドファンディングによるプロジェクトを計画しましたので申請します。

なお、寄附金募集のために公開するプロジェクトの内容に責任を負うとともに、プロジェクトを誠実に遂行します。

記

1. プロジェクトの概要

- ①プロジェクト名 :
- ②概要 : 別紙「プロジェクト説明資料」のとおり (様式任意)
- ③プロジェクト実施期間 : 年 月 日 ~ 年 月 日
- ④プロジェクト実施場所 :

2. プロジェクトの実施者

氏名 : 所属 :

3. 支援募集の概要

- ①目標金額 : 円
積算内訳 (根拠) : 別紙「積算内訳書」のとおり (様式任意)
- ②募集期間 : 年 月 日 ~ 年 月 日

4. 礼状等 (対価性のある物の譲渡及び貸付け並びに役務の提供による返礼を前提とすることはできません。)

- ①時期 :
- ②方法 :

5. その他特記事項

- ※ 支援金額は、
- ・大学の規程等に基づき寄附金として経理します。
 - ・大学の規程等に基づき管理等経費へ拠出します。
 - ・仲介者への手数料が控除されることに差し支えありません。

1. プロジェクトの概要 (スペースが足りない場合は、適宜追加のこと)

① 名称：(多くの寄付金が集まるような魅力的なタイトルをつけてください。)

② 背景と目的：

(なぜ、今回クラウドファンディングに挑戦しようと思ったのか、クラウドファンディングで寄付金を募ることで、新たに何に挑戦しようと考えたのか、等についてなるべく詳細に説明してください)

③ 実施計画：

(プロジェクトの実施内容について、時期や場所、体制を明記した上で、なるべく詳細かつ具体的に説明してください。)

3. 礼状等(欄が足りない場合は、適宜追加のこと)

(対価性のある物の譲渡及び貸付並びに役務の提供による返礼を前提とすることはできません)

① 時期：

② 募集金額：

(記入例 3,000 円)

礼状等 (返礼の方法)：

(記入例 お礼メール、活動報告メール送付)

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

別記 留意事項

- 申請内容は、大学の教育研究等の目的に沿って実施されるものでなくてはならない。
- 募集形式は、支援目標金額に到達した場合のみ支援成立となる All or Nothing 方式である。
- 集められた寄附金は、通常の奨学寄附金同様に、大学の規程等に基づき、経理しなければならない。
- 実施方式は、サポートプラン（クラウドファンディング事業者専任担当者による広報戦略の助言その他のサポートあり）、もしくはベーシックプラン（同サポートなし）を選ぶことができる。ただし、フルサポートプランの利用を希望しても、申請内容の性質等によっては、利用を受け付けてもらえない場合もある。
- 集められた寄附金の分配率は、以下のとおりとする（サポートプラン利用）。
 - 申請者（プロジェクト代表者） : 66.3%
 - クラウドファンディング事業者（CF 事業者）手数料..... : 18.7% (17%+税) *
 - 学内管理費等経費（事務局） : 15.0%*CF 事業者手数料が 20 万円+税に満たない場合は、最低手数料 20 万円+税とする。
*事業者手数料改定（2024/4/1）
- 集められた寄附金の分配率は、以下のとおりとする（ベーシックプラン利用）。
 - 申請者（プロジェクト代表者） : 71.8%
 - クラウドファンディング事業者（CF 事業者）手数料..... : 13.2% (12%+税)
 - 学内管理費等経費（事務局） : 15.0%*事業者手数料改定（2024/4/1）
- 以下に該当した場合、所定の金額が、キャンセル料として発生する。（フルサポートプランのみ）
 - CF 事業者側選任担当者との初回打ち合わせを実施した後、クラウドファンディングページ公開前に本クラウドファンディングの実施を中止した場合 : 33,000 円
 - クラウドファンディングページの公開後、寄附募集期間中に本クラウドファンディングを中止した場合 : 55,000 円**ただし、本クラウドファンディング達成前に限る。
- 申請者は、申請内容に従って必ず寄附者へ返礼（ギフト）を提供しなければならない。なお、対価性のある物の譲渡及び貸付並びに役務の提供による返礼は不可とする。
- 申請者はプロジェクトの実行及び、ギフトの提供が完了するまでの間、適宜、プロジェクトの進捗または、ギフトの提供に関する状況を寄附者に対して報告しなければならない。また、プロジェクト報告期日までにプロジェクトを実行し、プロジェクト完了後速やかに、完了報告を寄附者及び、CF 事業者へ行わなければならない。
- 原則、申請者自らが寄附者として本クラウドファンディングに対して寄附を行うことはできない。
- その他、以下の事項に留意すること。
 - 申請内容に従ってプロジェクトを実行し、集められた寄附金を使用しなければならない。
 - 寄附総額のうち、目標金額を超えた部分についても、申請内容に基づき、合理的な範囲内の用途に寄附金を使用しなければならない。
 - CF 事業者とのクラウドファンディングページ公開前の打ち合わせにより、当初の申請内容が変更となる場合は、申請者は必ずその旨を学生支援センター未来人材育成部門クラウドファンディング窓口へ報告すること。
 - CF 事業者の事前承諾なく、クラウドファンディングページ（本サービス上で作成中のものも含む）を本サービス以外に転載してはならない。

- CF事業者の事前承諾なく、寄附募集期間中、本クラウドファンディングにおける寄附金の用途と同一の資金用途を掲げて、寄附その他の寄附の募集（本クラウドファンディングとは別のクラウドファンディングを実施することを含む）を実施してはならない。
- 申請者（担当教職員）は、支援配分金の用途について、経理処理に関する大学規則に則り、妥当であることを判断する責任を負う。
- プロジェクト実施期間内に、申請者が転出する場合は、速やかに後任を指名すること。
- 申請書提出後の大幅な申請内容の変更は原則認められない。

